

No. 56

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合
番号 **アリーナB-女36**

ハンドボール

年月日 **2023 年 7 月 28 日 (金)**
 大会名 **令和5年度全国高等学校総合体育大会/ハンドボール競技大会**

公式記録用紙

A	熊本市立千原台高等学校										京都府立洛北高等学校										B		
北海道		函館市										函館アリーナBコート										3回戦	
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加コラ	A	B									
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数												
1/3	1	2	後	3	1	2	3	1	2	3	1/2	2704	1228	2638	1422								
No.	千原台					G	W	2'	D	DR	No.	洛北					G	W	2'	D	DR		
1	佐々木 夢愛										1	小林 由加子											
2 c	本郷 陽					3					2	大野 菜々美											
3	上村 風乃					4					3	佐藤 楓夏											
4	黒石 希望					2		1			4	田村 由佳					2		1				
5	平田 瑞稀										5	中尾 藍					5						
6	渡邊 愛花					5					6 c	大宮 万葵					6						
7	河内 瑠璃										7	西垣 晴菜					4						
8	河上 亜里沙					6		1			8	村田 遥香											
9	高橋 妃葉里										9	森村 心桜											
10	橋本 幸奈										10	有本 都恵					2	1	1				
11	高野 聖音					2					11	岩木 ひなた					4						
12	山田 桜										12	庄司 さくら											
13	本田 結那										13	白石 鈴乃											
14	宮本 瑠乃亜										14	福田 愛夏											
監督A	小松 史果										監督A	西村 純											
役員B	米村 貴世史										役員B	小野 愛花											
											役員C	小澤 絢希											

A. **小松史果** チーム役員A署名 **西村純** B

特記事項

レフェリー	合田 享弘	橋本 賢	合田享弘	橋本賢
TD	高橋 英明	傳法谷 芳子	高橋英明	傳法谷芳子
MO	小橋 太		小橋太	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

No 58

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

ハンドボール

競技日	2023年7月28日(金)		会場	函館アリーナBコート	
種別	女子		回戦	3回戦	
チーム名			チーム名		
熊本市立千原台高等学校			京都府立洛北高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
22	12	前半	13	23	
	10	後半	10		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTG			

戦評
<p>選抜、前年インターハイ、ともにベスト8の京都府立洛北と、選抜の2回戦から今大会は危なげない勝ち上がりで3回戦に進出した熊本市立千原台との対戦。開始1分、先生は千原台No.6渡邊のカットインシュートで先制、すぐさま洛北No.6大宮が速攻から得点を決める。7mにより洛北1点リードののち、千原台の素早いパス回しにもしっかりとディフェンスで対応する洛北は、No.11岩木がサイドシュート決め、洛北が前半6分で3対1とリードを広げる。千原台も反撃を開始、No.3上村のポストシュート、No.8河上のサイドシュート、No.2本郷のミドルシュートで前半9分には4対4の同点に追いつく。ここから点の取り合いとなるが、高さのある洛北に対し、スピードに勝る千原台が流れるような速攻からのNo.3上村が得点を決めたほか、No.2本郷のミドルシュートも決まり、前半14分には9対5まで点差が広がり、洛北はタイムアウト。これで落着きを見せた洛北は、この後、No.10有本のカットインシュート、No.5中尾のロングシュート、No.7西垣のミドルシュートも決まり、洛北8対9の1点差まで詰める。その後は点を取り合う攻防が続くが、前半25分の洛北9対12から、No.11岩木のミドルシュート、No.6大宮とNo.4田村の速攻が連続で決まり12対12の同点に、前半29分に洛北に退場者が生じ、千原台に7mも得点に至らず、最後は洛北No.6大宮がサイドシュート決め、洛北が13対12と逆転して前半を終える。</p> <p>後半に入り、開始当初は互いに堅いディフェンスを見せ、なかなか得点が入らないが、後半4分に千原台No.4黒石のポストシュートが決まり、13対13の同点に追いつく。その後、千原台No.8河上が角度のないところからのサイドシュートを決めるなど点を取り合うが、後半9分に千原台に退場者が出ると、洛北No.6大宮が連続してサイドシュートを決め、18対15とリードを奪う。千原台は後半12分にタイムアウト、その後No.6渡邊のミドルシュート、パスカットからのNo.11高野の速攻が決まり、後半14分には一気に18対18の同点に。千原台はキーパーNo.1佐々木が好セーブを連発し粘りをみせるも、ここから洛北はNo.5中尾のロングシュートやNo.6大宮の速攻が決まりリードする。後半23分には洛北に退場者が生じるが、堅い守備で差はつまらない。後半26分には洛北No.11岩木のカットインシュートが決まり、23対20と突き放す。終盤タイムアウトを取った千原台は、No.8河上のミドルシュートやNo.3上村のサイドシュートで1点差まで迫るが、ここでタイムアップ。洛北が23対22と接戦を制し、準々決勝に駒を進めた。</p>

記入者	鈴木 将宏
-----	-------